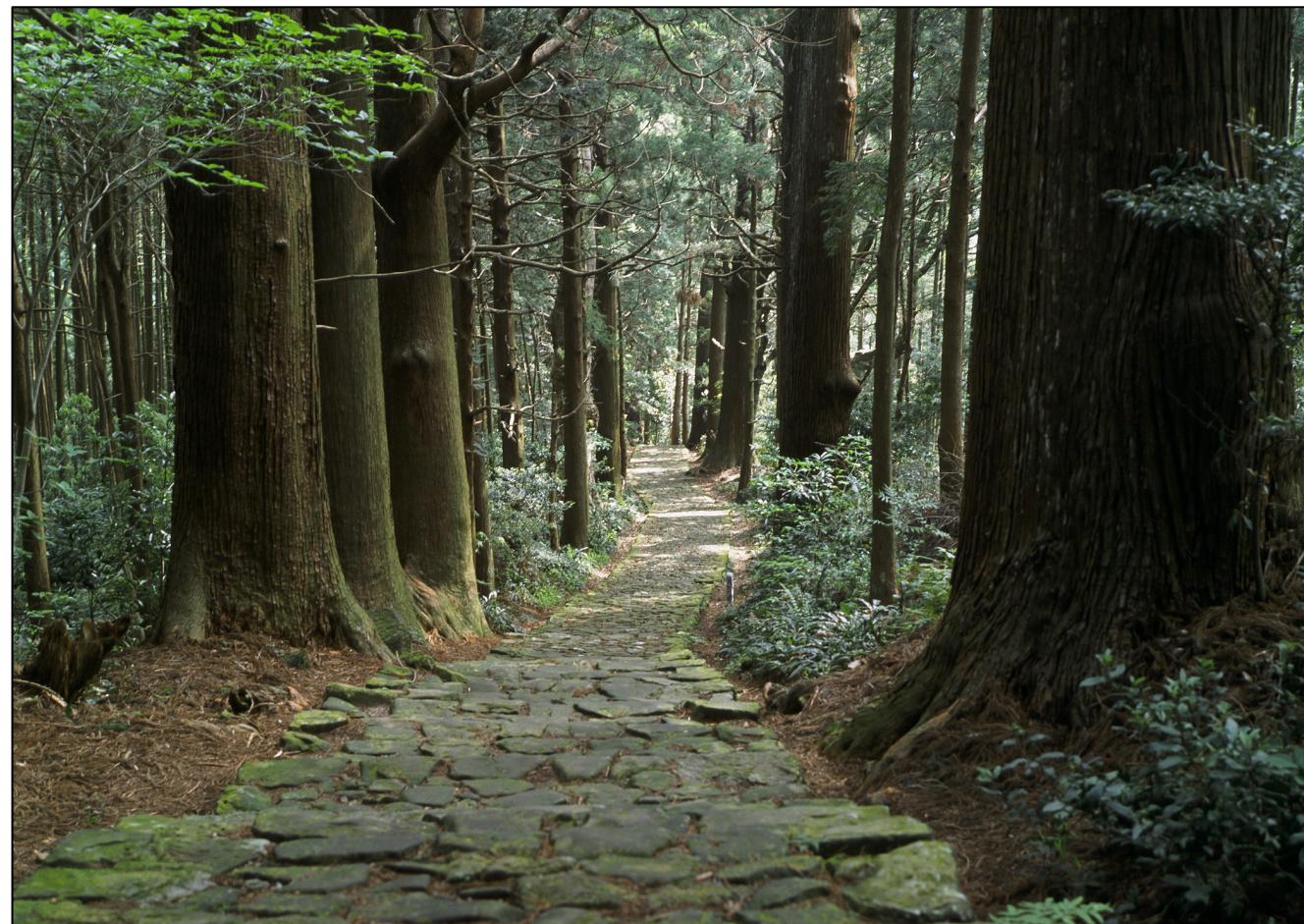


魅力

自然  
歴史・文化  
芸能・スポーツ  
体験・イベント

## 世界遺産の古道歩きを核に体験型観光推進により滞在力を発揮

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の古道歩き、カヌー、農林漁業など豊かな自然の中での体験型観光「ほんまもん体験」のメニューが充実。「ほんまもん体験」や古道ガイドの取り組みにより、体験型観光客が大幅増、滞在時間、日数が向上。



熊野古道・大門坂

### 入込客数

和歌山県観光動態調査	
平成14年(2002)	937万人
平成15年(2003)	935万人
平成16年(2004)	1,091万人
平成17年(2005)	1,107万人
平成18年(2006)	1,070万人

※高野町、かつらぎ町、九度山町、田辺市、白浜町、すさみ町、新宮市、那智勝浦町の合計

取組

PR・誘致活動  
案内・情報提供  
景観保全・環境整備  
人材育成  
体験・イベント開催  
広域連携の促進

### 熊野古道ウォークの充実



語り部の案内による古道歩き



古道歩きをサポートする標柱設置

熊野古道中辺路の中でも最も難所として知られる「大雲取越え」ルートの那智勝浦町エリアの古道沿いに、進行方向や番号等を付した(ローマ字併記)標柱を500mピッチで設置することにより、古道を歩く人への情報提供と安全確保を図る取り組みを実施。また、地域の団体において、熊野の歴史や自然などの熊野の森羅万象とガイドの会話術について研修を受けた「語り部」を育成するとともに、有料化を図ったことにより若い語り部が増加。また、ボランティアによる夫婦の語り部、外国人のために英語を操る語り部などユニークな人材も多くなり、平成14年に44人だった語り部が、平成19年現在では186人に増加。また、語り部と市民ボランティアで清掃活動など古道の保存・維持に努力。

### 「ほんまもん」体験

和歌山県が全国に先駆けて開発した体験型観光「ほんまもん体験」。プログラムも年々充実し、その数現在305。カヌー、シュノーケリングや農林水産業体験など海・山・川等豊かな自然を活用した様々なプログラムが好評で、体験観光の来客数は増加の一途。平成14年約10万人であったが、平成18年には県全体で約26万人と4年間で約2.5倍に増加。

現在、人気のプログラムは語り部と歩く熊野古道、イルカと泳ぐドルフィンスイミング、清流でのカヌー、美しい海でのダイビング、シュノーケリング、紀州備長炭炭焼き体験、林業間伐体験、梅もぎ・梅ジュース作り、高野山の数珠作り体験など、和歌山ならではの魅力的なものが並ぶ。

毎年更新するパンフレット5万部を全国に配布、インターネットのホームページでの情報発信にも力を入れ、旅行会社とタイアップしたモニターツアーや旅行商品開発にも取り組んでいる。近年、教育旅行分野でも「ほんまもん体験」の活用が増加、修学旅行誘致にも力を注いでいる。



カヌー体験



シュノーケリング体験

### 広域観光ニーズへの対応

「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された高野・熊野は、2市6町の広域にまたがるため、「山岳霊場」と「参詣道」及びその周囲を取り巻く「文化的景観」に配慮しつつ、サインの統一化や「紀州もてなし街道(日本風景街道 熊野)」など関係市町と連携して観光案内情報の提供に取り組んでいる。

和歌山県観光連盟  
TEL:073-422-4631 URL:<http://kanko.wiwi.co.jp>